JA

# HR-170RC

## 取扱説明書

**保証書付**

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

93-1175000003

SA2205-D
**© 2016 CASIO COMPUTER CO., LTD.**

CASIO

# 安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、取扱説明書の記載に従って、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

| | |
|---|---|
| ⚠ **危険** | 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。 |
| ⚠ **警告** | 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。 |
| ⚠ **注意** | 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。 |

絵表示の例


⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は、分解禁止)


△ 記号は、「注意すること」を意味しています。(左の例は、感電注意)


● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

## ⚠ 危険

**ボタン型・コイン型電池について**


電池を誤飲しない、させない。
特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

## ⚠ 警告

**AC アダプターについて**


**布団、毛布などをかぶせて使わない、熱器具のそばで使わない。**


**ぬれた手で電源プラグに触れない。**
感電の原因となります。


**AC アダプターや電源コードが傷んだら、「修理サービス窓口」に連絡する。**
そのまま使うと、火災・感電の原因となります。


**外出時は、動物・ペットが製品に近づかないようにして、AC アダプターはコンセントから抜く。**
ペットが噛んだり、尿がかかると、ショート(短絡)による火災の原因となります。

**電池について**


**電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。**
目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。

## ⚠ 警告

### 置き場所・使用場所について

**次のような場所に置かない、使わない。**
火災・感電の原因となります。
- 湿気やほこりの多い場所
- 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

**本機の上に重いものを置かない。**
落下・転倒時には、けがの原因となります。

### 異常(煙、臭い、発熱など)について

**発煙・異臭・発熱などの異常状態で使わない。落としたときなど破損したまま使わない。**
火災・感電の原因となります。すぐに次の処置をしてください。
1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. 「修理サービス窓口」に連絡する

### 表示画面について

**液晶画面は強く押さない、強い衝撃を与えない。**
液晶画面のガラスが割れてけがの原因となります。

**液晶画面が割れた場合、内部の液体には絶対に触れない。**
皮膚に付着した場合は、炎症の原因となります。
口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な水でよく洗い流して、医師に相談してください。

### 分解・改造しない

**本機を分解・改造しない。内部の点検・調整・修理は「修理サービス窓口」に連絡する。**
感電・やけど・けがの原因となります。

### 袋をかぶらない、飲み込まない

**包装に使用している袋で遊ばない。**
かぶる、飲み込む、などの行為は、窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

## ⚠ 警告

### 水・異物は避ける

**水、液体（スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿など）、異物（金属片など）が本機やＡＣアダプターの内部に入らないようにする。もし、入ったら、すぐに次の処置をする。**
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3.「修理サービス窓口」に連絡する

**本機や AC アダプターの上やそばに花瓶など液体の入ったものを置かない。**
倒れて、液体がかかると火災・感電の原因となります。

**雷が鳴り始めたら、電源コンセントに接続されている機器に触れない。**
感電の原因となります。

## ⚠ 注意

### AC アダプターについて

**AC アダプターによる火災・感電を防ぐため、次のことは必ず守る。**

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 使用後は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ず電源プラグを持って抜く）
- 長時間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように乾いた布で清掃する
- 電源コード（特に電源プラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使わない

## ⚠ 注意

### 電池について

**破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。**

- 分解しない、ショートさせない
- 充電しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 本機で指定されている電池以外は使わない
- 極性(＋と－の向き)に注意して正しく入れる
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出しておく
- 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

**電池が液漏れしたまま使用しない。**

火災･感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理サービス窓口」に連絡してください。

**JIS C 61000-3-2 適合品**

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

**テレビ・ラジオのそばのご使用について**

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# はじめに

本機は実務計算に便利な加算器方式のプリンター電卓です。
以下のような特長があります。

- 整数部 3 桁区切りシンボル付きの見やすい表示窓を採用しています。
- 正の数、負の数が一目でわかるように正負別に印字の色を変更しています。
- 加減回数が一目でわかるアイテムカウント機能を備えています。
- 中間計・合計・総合計が求められる優れた合計計算機能を備えています。
- 割増し、売価設定などが簡単に求められるパーセント計算ができます。
- アドモード計算(小数第 2 位指定計算)ができます。
- 通貨換算、税金計算、原価・売価・利益計算ができます。
- 検算メモリーを使って、計算手順の確認や手直し、および印字をすることができます。
- 時計機能付。時刻や日付を印字できます。

ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、各機能を十分ご理解の上、正しくお取扱いくださいますようお願いいたします。

- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 本書および本機使用や故障により生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

# 目　次


安全上のご注意 ..... 1
はじめに ..... 5
ご使用上の注意 ..... 7
初めてお使いになるときは ..... 8
　絶縁シートを引き抜く ..... 8
　インクローラー固定テープを外す ..... 9
電源について ..... 9
　メイン電池の交換のしかた ..... 9
　AC アダプターの使いかた ..... 10
ロールペーパーをセットするには ..... 11
インクローラーを交換するには ..... 12
各部の名称 ..... 12
計算をはじめる前に ..... 14
　プリント ON ／プリント OFF の切り替え ..... 14
　時計機能 ..... 14
　ノンアドプリント ..... 15
　表示のみで計算し、結果だけをプリントしたい ..... 16
　検算メモリーを印刷する ..... 16
　エラー ..... 16
　訂正 ..... 17
基本計算 ..... 19
　加減算 ..... 19
　IT 機能 ..... 21
　乗除算 ..... 23
　乗除算結果の合計と総合計 ..... 25
　定数計算 ..... 27
　独立メモリー計算 ..... 29
　パーセント計算 ..... 31
　実務計算 ..... 34
検算機能 ..... 37
　計算手順を確認するには ..... 37
　計算手順を変更するには ..... 38
通貨換算 ..... 39
　レートを設定する ..... 39
　通貨換算のしかた ..... 39
税金計算 ..... 41
　税率を設定する ..... 41
　税計算の例 ..... 41
原価・売価・利益計算 ..... 42
仕様 ..... 43
保証・アフターサービスについて ..... 44
アフターサービス窓口について ..... 45
カシオ保証書 ..... 巻末

# ご使用上の注意

本機は精密な電子部品を使用しています。末長くご愛用いただくために、下記の注意をよくお読みの上、ご使用ください。

- 本機は精密な電子部品で構成されています。絶対に分解しないでください。また、投げたり落としたりなどの強いショックを与えないようにしてください。
  液晶部分やケースの破損、または電子回路の故障の原因になります。
- 直射日光が長時間当たる場所や、暖房機器の近くなど極端に温度が高くなる場所には置かないでください。また、湿気やホコリの多い場所は避けてください。ケースの変色や変形、または電子回路の故障の原因になります。
  さらに低温の場所で使用すると、表示の応答速度が遅くなったり、点灯しなくなることがあります。その場合、通常の温度になると正常に戻ります。
- 本機が正常に使用できても、1 年に 1 度は必ず電池を交換してください。また、本機を長時間ご使用にならないときは、電池を抜き取っておいてください。寿命の切れた電池は本体に悪影響を与えますので、速やかに交換してください。
- 使用後や使用する予定がないときは、本機の電源を OFF にしてください。また長時間ご使用にならないときは、AC アダプターのプラグを抜いてください。
- 本機の汚れは、シリコンクロスなど柔らかい布でお拭きください。特に汚れがひどいときは、中性洗剤液に浸した布を固くしぼってお拭きください。
  なお、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は、使用しないでください。ケースの変色または変質の原因になります。
- ロールペーパーやインクローラーを交換される際は、最寄りの当社製品販売店で本機の仕様に合った製品をご購入ください。
- 正常に印刷ができないと (紙詰まり・電池消耗時等)、"P--Error" と表示されます。この場合は、速やかに原因を取り除いてください。
- 印字途中でプリンターが止まった場合は、CA キーまたはリセットボタンで復帰します。このとき不特定の印字を行うことがあります。

### ● リセットボタン

正常な計算ができなくなったときは、本機の裏側にあるリセットボタンを押してください。




リセットボタンを押すと、本機に記憶されている数値や設定はすべて消去されてしまいます。大切な数値や設定は別途ノートなどに書き写してください。
リセットボタンを押した後は、15 ページをご参照になり、日時を設定してください。

### ● バッファレジスターとブラインドタッチオペレーション

すばやい操作にも計算機が対応できるように<バッファレジスター>を 16 キー分備えています。このバッファレジスターは、数値だけでなく、命令キーも記憶していますので、計算･印字中でも、次の数値や命令をキーインすることができます。また、置数キーの 5 の中央に凸部がありますので、5 をガイドキーとして<ブラインドタッチオペレーション>をすることができます。



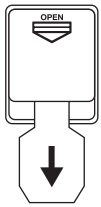
c

# 初めてお使いになるときは

## ■ 絶縁シートを引き抜く

初めてご使用になるときは、絶縁シートを図のように引き抜いてください。
絶縁シートを引き抜くとメモリー保護用電池から電気が供給されます。

- 絶縁シートを引き抜いた後は、メイン電池を入れるかまたは AC アダプターを接続してから、リセットボタンを押してください。



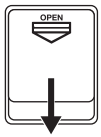

### ● メモリー保護用電池

本機には内部メモリー（記憶装置）に記憶した数値、日時などを保持するためにメモリー保護用電池が装着されています。
メモリー保護用電池は、メイン電池や AC アダプターによって電源が供給されている間は消耗しません。
一方、メイン電池や AC アダプターによって電源が供給されていない状態で約 22ヶ月が経過すると、メモリー保護用電池の消耗により、記憶した数値、日時などが変化したり消失してしまいます。
AC 電源が供給されていない状態で約 22ヶ月が経過したら電池を交換してください。

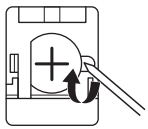
### ● メモリー保護用電池の交換

- 電池交換をすると、記憶した数値や日時がクリアされます。必要な数値は電池交換の前にメモ帳などに書き写してください。また、日時は電池交換後、設定しなおしてください。
- AC 電源が供給されていても、液漏れによる故障の恐れがありますので、必ず 7 年に 1 度は電池交換をしてください。
- 電池を取り出すときや、リセットボタンを押すときに、つまようじや鉛筆など、先端の折れやすいものを使わないでください。故障の原因になります。

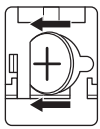
1. 電池ブタを矢印の方向にスライドさせて、電池ブタを取り外します。



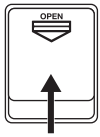

2. ピンセットの先やボールペンの先などを使って、電池を取り外します。



3. 新しい電池の表面を柔らかい乾いた布で拭いてから、⊕ 側を上向きにして取り付けます。



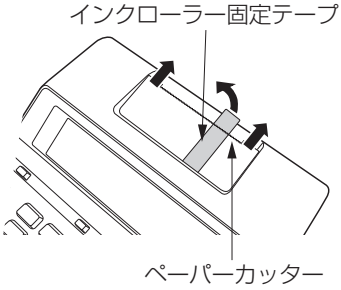
4. 電池ブタを矢印の方向にスライドさせて取り付けます。




5. メイン電池が入っているかまたは AC アダプターが接続されていることを確認した後、ピンセットの先やシャープペンシル（芯を出さない状態）など先の細い棒のようなものを使って、リセットボタンを押します。

### ■ インクローラー固定テープを外す

ペーパーカッターを外してから、インクローラー固定テープを剥がしてください。




## 電源について

本機の電源には、以下の 2 種類があります。

a. DC 電源 ..... 単 3 形乾電池を 4 本使用します。
b. AC 電源 ..... 別売の専用 AC アダプター< AD-A60024 >を接続します。

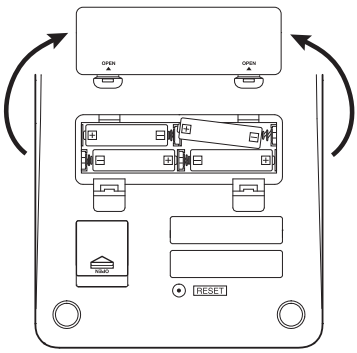
### ■ メイン電池の交換のしかた

以下のような状態になった場合は、電池を交換してください。

a. 表示が薄くて見にくくなった場合。
b. プリントスピードが遅くなった場合。
c. PRT キーでプリント ON に指定しているときに、誤印字やプリンターの異常が発生した場合。
d. 印字中に "P--Error" になった場合。

メイン電池の交換のしかたは、次のとおりです。

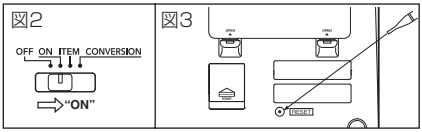
1. 電源を OFF にします。
   本体裏側の電池ブタを OPEN の方向に指で押しながら外します。
2. 古い乾電池を取り外します。
   ⊕⊖ に注意して、新しい乾電池を入れます。
3. 電池ブタを閉じます。






c

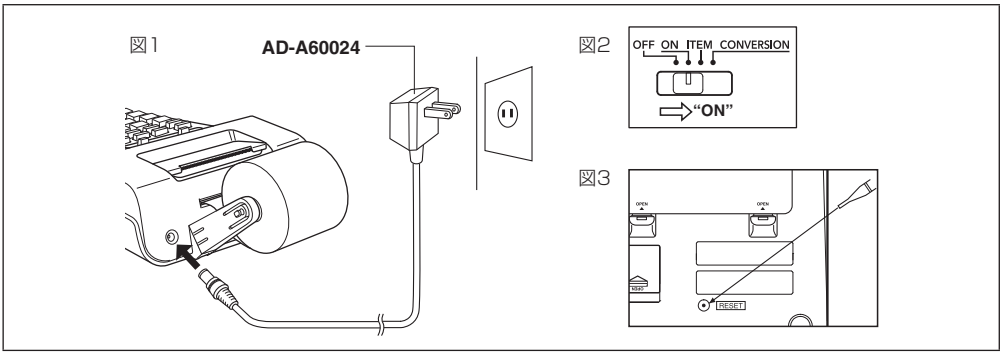
4. 電源を ON にします。（図 2）
5. リセットボタンを押します。（図 3）
・ 電池は 4 本とも同時に交換してください。
・ 電池の液もれによる故障を防ぐために、1 年に 1 度は必ず電池を交換してください。




## ■ AC アダプターの使いかた

電源を OFF にしてから、別売の AC アダプターを図のように接続しますと、家庭用電源（AC100V）で本機を使用することができます。その際、電池側の電源は自動的に OFF になります。

1. AC アダプターを接続します。（図 1）
2. 電源を ON にします。（図 2）
3. リセットボタンを押します。（図 3）



# ロールペーパーをセットするには

1. 電源を ON にして、ロールペーパーの先端をきれいに切ります。(図 1)
2. 本機後面のロールアーム取り付け口に付属のロールアームを差し込み、“パチン”と音がするまで押し込みます。(図 2)
3. ペーパーの先端が計算機の下から手前に向かって出るようにロールペーパー挿入口へ深く差し込み、ペーパーの先端がペーパーカッター部より 2～3cm 出るまで FEED キーを押します。(図 3)
4. ロールペーパーをロールアームに取り付けます。(図 4)

図1

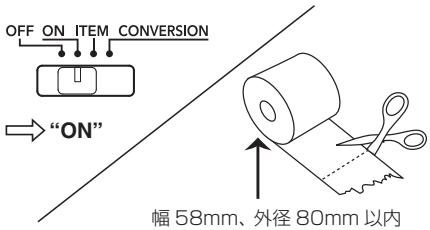



図2

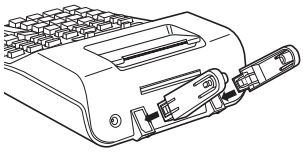


図3

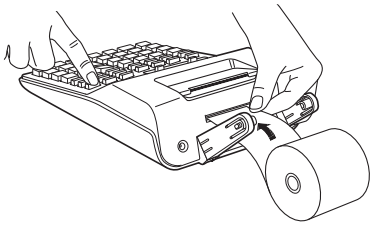
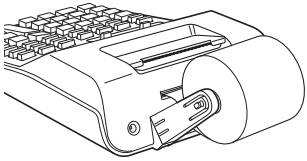


図4



**<ご注意>**

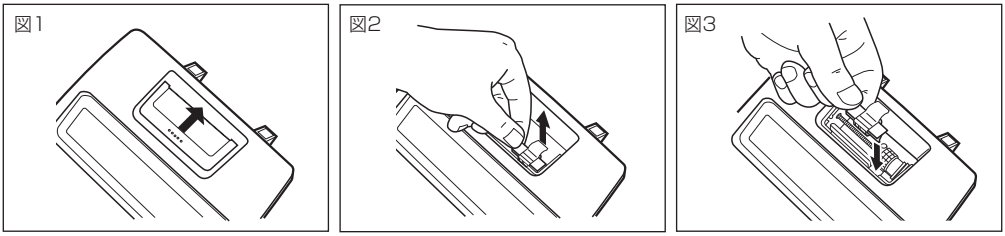
ロールペーパーをセットするときや進めるときは、必ず FEED キーを押してください。手で無理に引っ張ると、故障の原因となります。

# インクローラーを交換するには

（付属品：MS37901　別売品：IR-40T）

印字が薄くて見にくくなったときは、以下の手順でインクローラーを交換してください。

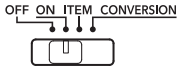
1. ➡ 方向にスライドさせて、プリンターカバーを取り外します（図 1）。
2. 古くなったインクローラーのノブを上に引き上げて取り外します（図 2）。
3. 新しいインクローラーを所定の位置に差し込みます（図 3）。
4. インクローラーが確実に取り付けられたことを確認してから、プリンターカバーを元に戻します。




**＜重要＞**

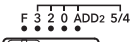
- インクローラーに筆記用インクや印刷用インクなどを注入して使用しないでください。プリンター部を破損してしまう恐れがあります。
- インクローラーは、必ず指定のインクローラーと交換してください。

# 各部の名称




**機能セレクター**

- **OFF**　：電源が OFF になります。
- **ON**　：電源が ON になります。
- **ITEM**：計算を行った回数（アイテムカウント）を同時に印字したいとき、ここに設定します。
  - ✱ または %/♯ を押すと、合計または中間結果とともに ± と − を押した加減回数が 3 桁印字されます。
  - GT を押すと、総合計とともに ✱ を押した回数が 3 桁印字されます。
- **CONVERSION**：通貨換算を行うことができます。




**ラウンドセレクター**

小数部(端数)の処理のしかたを指定します。

- F　:小数部を処理せず、そのまま答えを求めます(浮動小数点)。
- 3、2、0……
  小数位を指定します。指定した数の下 1 桁(2 であれば 3 桁)目が「四捨五入」されます。
- ADD2
  アドモード計算(小数第 2 位指定計算)を指定します。

**<重要>**

加減算では、置数と計算結果の両方がラウンドセレクターの指定にしたがって「四捨五入」されます。乗除算では、置数は入力したままの数値を使用して計算され、計算結果だけがラウンドセレクターの指定にしたがって「四捨五入」されます。

FEED フィードキー（11 ページ）

1 ～ 9 0 00 • 置数キー

%# サブトータル／ノンアドプリントキー（19 ページ／ 15 ページ）

✱ トータルキー（19 ページ）

FORMAT G✱ グランドトータルキー／年月日フォーマットキー（19 ページ／ 15 ページ）

AVG IT アイテムキー／アベレージキー（21 ページ／ 22 ページ）

▶ 桁下げキー（17 ページ）

+/− サインチェンジキー（20 ページ）

SET % パーセントキー／セットキー（31 ページ／ 15 ページ）

MU MD マークアップ／マークダウンキー（33 ページ）

C クリアーキー

CA クリアーオールキー

TIME タイムキー（14 ページ）

＋ 加算キー（19 ページ）

− 減算キー（19 ページ）

PRT 印字モード指定キー（14 ページ）

REPRINT リプリントキー (16 ページ )

—CHECK— ∧ ∨ スクロールキー（37 ページ）

CORRECT コレクトキー（38 ページ）

Δ% デルタパーセントキー (32 ページ )

TAX+ 税込みキー（41 ページ）

TAX− 税抜きキー（41 ページ）

COST 原価キー（42 ページ）

SELL 売価キー（42 ページ）

MAR 利益キー（42 ページ）

M+ C3 メモリープラスキー／通貨換算キー（C3）（29 ページ／ 39 ページ）

M− C2 メモリーマイナスキー／通貨換算キー（C2）（29 ページ／ 39 ページ）

M◊ C1 メモリーリコールキー／通貨換算キー（C1）（29 ページ／ 39 ページ）

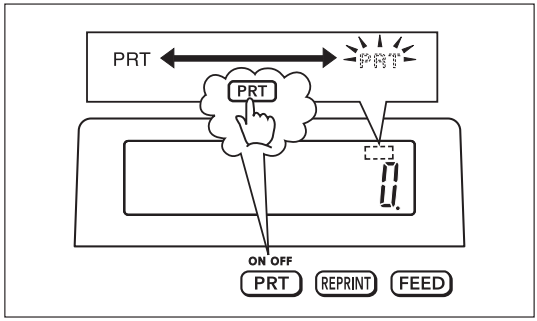
M✱ $ メモリーリコールクリアーキー／通貨換算キー ($)(29 ページ／ 39 ページ)

AM/PM ✕ 乗算キー／午前/午後キー(23ページ／15 ページ)

12/24 ÷ 除算キー／ 12/24 時制キー(23 ページ／ 14 ページ)

# 計算をはじめる前に

## ■ プリント ON ／プリント OFF の切り替え




PRT キーを押して、すべての内容を印刷するかどうかを指定します。
キーを押すたびに「プリント ON → プリント OFF → プリント ON →…」と切り替わります。プリント ON の場合は、表示窓の右上に “PRT” が表示されます。

## ■ 時計機能

現在の時刻および日付が印刷できます。

| 例題 | 操作 | プリント | 表示 |
|---|---|---|---|
| PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F | | | |
| | TIME | #01•18•••••••••• | 01-18-51 |
| | TIME | #06–23–2017••••• | 06-23-2017 |

- 30 分間操作しないと自動的に時計表示に切り替わります。元の画面に戻るときは C を押してください。
- 現在時刻が表示されているとき 12/24 ÷ を押すと、12 時制と 24 時制を切り替えることができます。
- 12 時制の場合の表示と印字は次のようになります。

午前を表します。

| | | |
|---|---|---|
| #01•18•••••••••• ◊ | A | 01-18-52 |
| #01•18•••••••••• ＊ | P | 01-18-52 |

午後を表します。

### 日時の設定

**（例） 2017年3月15日 AM10:30 に設定します。**

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| TIME | #08•22•••••••••• ◊ | A 08-22-41 |
| SET % 103003152017※ TIME TIME | #03–15–2017•••••• | A 10-30-00 |
| （"SET"が点灯するまで押します） | | 03-15-2017 |

※ 12時制の設定の場合は、ここで AM/PM ⊠ を押して午前と午後を切り替えます。

- 日付と時間を設定する際に入力範囲外の数値を入力すると、表示窓に "Error" が 0.5 秒ほど点灯します。

#### 年月日表示フォーマットの変更

年月日を設定中または表示中に FORMAT G✱ を押すと以下のように年月日の表示フォーマットを変更できます。

月日年　MM-DD-YYYY
日月年　DD-MM-YYYY
年月日　YYYY-MM-DD

## ■ ノンアドプリント

日付や管理コード番号など、計算とは無関係な数字をプリントしたい場合は、数字を入力した直後に %# キーを押してください。計算には影響を与えずに数字のみがプリントされます（プリントされる数字には "#" が付きます）。プリントした数値は印刷の区分けやプリントのヘッダーとしてお使いいただけます。

PRT：OFF、機能セレクター ： ON、ラウンドセレクター：F

| | | | |
|---|---|---|---|
| 日付：2017年11月17日 | 2017 • 11 • 17 %# | #2017•11•17•••••• | 2′017.1117 |
| コード番号：10022 | 1 00 22 %# | #10022•••••••••• | 10′022. |

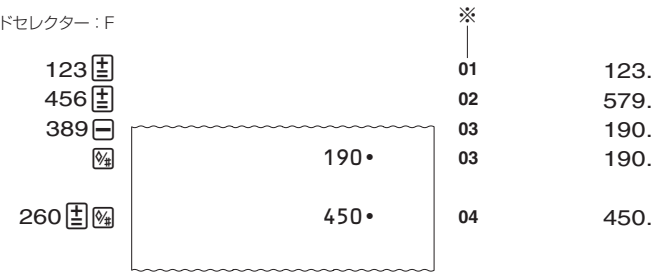


D

## ■ 表示のみで計算し、結果だけをプリントしたい

プリント指定が OFF のとき [%] を押すと、表示されている数値をプリントします。すなわち、印刷をしないで計算を行い、結果だけをプリントすることができます。

PRT：OFF、機能セレクター ： ON、ラウンドセレクター：F




※ 表示窓にステップ番号のインジケーターも表示されます。

- インジケーターは本書の例題画面で省略されていることがあります。

## ■ 検算メモリーを印刷する

- [REPRINT] を押すと、[CA] キーを押した後に記憶されている計算手順と計算結果が印刷できます。[REPRINT] で印刷した場合は、1 行目に“•••• 0 ••••”が印字されます。
- 印字を中止するには、再度 [REPRINT] を押すか、[CA] を押します。

## ■ エラー

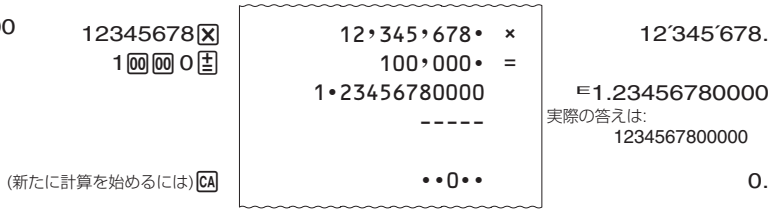
計算機が以下のような状態になると、表示窓の左端に “E” を表示します（印字中は “−−−−−−” を印字します）。また、同時に [CA] と [FEED] 以外のキーは働かなくなります。

- 計算途中の数値または答えの整数部が 12 桁を超えたとき。このとき表示されている数値は、小数点を「1 兆の位」とした概算の答えです。
- 独立メモリーに数値を記憶させた結果、数値の整数部が 12 桁を超えたとき。この場合、独立メモリー内には桁オーバーする前の数値が保護されています。
- 6 [÷] 0 [±] のように、除数 0 の割り算を行ったとき。
- 売価設定計算（マークアップ計算）の利益率を 100%にしたとき。または、原価設定計算（マークダウン計算）の利益率を−100%にしたとき。

エラー（“E” 表示）は、[CA] を押すことにより解除されます。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

12345678 × 100000
=1234567800000



### ● オーバーフロー時のメモリー保持について

オーバーフローが起きた場合でも、独立メモリーに記憶されていた数値は保持されます。[CA] キーを押してエラーを解除した後であれば、[M⇳] または [M⇶] キーで再度メモリーの数値を呼び出すことができます。

## ■ 訂正

- 数字キーの押しまちがい(置数ミス)・・・・・・
  a. [C] を押してください。表示が "0." になります。
  b. [▶] を押してください。押すごとに表示数値の最小桁の数字が消えます。
  いずれの場合も、続けて置数し直してください。
- 置数ミスのまま計算命令キーを押してしまったとき・・・・・・
  [CA] を押して、最初から計算をやり直してください。
- 計算命令キーの押しまちがい・・・・・・
  a. [×]・[÷] は、相互に押すことにより訂正することができます。後から押した計算命令キーに訂正されます。
  b. [±]・[−] は、同じ数値を加減算することにより訂正することができます。
- [M+]・[M−] の押しまちがい・・・・・・
  同じ数値を加減算することにより訂正することができます。

(例 1)

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

123 × 456 × 78
= 4374864

| | | |
|---|---|---|
| 123[×] | 123• × | 123. |
| (入力ミス) 447 | | 447. |
| (訂正) [C] | | 0. |
| 456[×] | 456• × | 56′088. |
| (入力ミス) 789 | | 789. |
| (誤って入力した最後の桁"9"のみをカット) [▶] | | 78. |
| [±] | 78• = | |
| | 4,374,864• + | 4′374′864. |

(例 2)

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

12 + 36 = 48
14 + 25 = 39
87

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 12 ± | 12• + | 12. |
| 36 ± | 36• + | 48. |
| ✱ | 48• ✱ | 48. |
| 14 ± | 14• + | 14. |
| (入力ミス) 26 − | **26**• − | −12. |
| (訂正) ± | 26• + | 14. |
| 25 ± | 25• + | 39. |
| ✱ | 39• ✱ | 39. |
| G✱ | 87• | 87. |
| | •••••••••••••••• ✱ | |

(例 3)

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

12 + 36 = 48
14 + 25 = 39
87

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 12 ± | 12• + | 12. |
| 36 ± | 36• + | 48. |
| ✱ | 48• ✱ | 48. |
| 14 ± | 14• + | 14. |
| (入力ミス) 26 − | **26**• − | −12. |
| ✱ | **−12**• ✱ | −12. |
| (訂正) − | −12• − | 12. |
| ✱ | 12• ✱ | 12. |
| 14 ± | 14• + | 14. |
| 25 ± | 25• + | 39. |
| ✱ | 39• ✱ | 39. |
| G✱ | 87• | 87. |
| | •••••••••••••••• ✱ | |

# 基本計算

## ■ 加減算

CA 数値入力 ± (−) ..... 数値入力 ± (−) ✱ ..... 合計を算出
数値入力 ± (−) ..... 数値入力 ± (−) ✱ ..... 合計を算出
G✱ ..... 総合計を算出

- 加減算を行う場合は、はじめに必ず CA キーを押してください。
- %# キーを加減算の途中で押すと、その時点での中間計がプリントされます。
- ✱ キーを押すと答え（合計）をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアーするので、次の計算をする前に CA キーを押す必要はありません。
- G✱ を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアーされます。
- %#、✱、G✱ の各キーを押して求められた計算結果を被乗数、被除数、定数として、続けて乗除算(× ／ ÷)ができます。

### (例 1) 小数を含む加減算

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：2

| | | | |
|---|---|---|---|
| 3.214 | CA | ••0•• | 0. |
| 56.769 | | | |
| +) 987.4 | 3 · 214 ± | 3•21 + | 3.21 |
| 1047.383 | 56 · 769 ± | 56•77 + | 59.98 |
| | 987 · 4 ± | 987•40 + | 1′047.38 |
| | ✱ | 1,047•38 ＊ | 1′047.38 |

## (例 2) 中間計・合計・総合計

PRT：ON、ラウンドセレクター：F

| | | |
|---|---|---|
| 125 | CA | |
| 365 | | |
| −214 | | |
| (276) (中間計) | 125 ± | |
| 654 | 365 ± | |
| 930 (合計) | 214 − | |
| | %‰ | |
| | 654 ± | |
| | ✱ | |
| 563 | 563 ± | |
| 258 | 258 ± | |
| −452 | | |
| (369) (中間計) | 452 %‰ ± | |
| 741 | %‰ | |
| 1110 (合計) | | |
| | 741 ± | |
| 2040 (総合計) | ✱ | |
| | G✱ | |

機能セレクター：ON

| | |
|---|---|
| ••0•• | |
| 125• | + |
| 365• | + |
| 214• | − |
| 276• | ◊ |
| 654• | + |
| 930• | ✱ |
| 563• | + |
| 258• | + |
| −452• | + |
| 369• | ◊ |
| 741• | + |
| 1,110• | ✱ |
| 2,040• | |
| •••••••••••••••• | ✱ |

機能セレクター：ITEM

| | | |
|---|---|---|
| ••0•• | | 0. |
| 125• | + | 125. |
| 365• | + | 490. |
| 214• | − | 276. |
| 003•••••••••••••• | | |
| 276• | ◊ | 276. |
| 654• | + | 930. |
| 004•••••••••••••• | | |
| 930• | ✱ | 930. |
| 563• | + | 563. |
| 258• | + | 821. |
| −452• | + | 369. |
| 003•••••••••••••• | | |
| 369• | ◊ | 369. |
| 741• | + | 1´110. |
| 004•••••••••••••• | | |
| 1,110• | ✱ | 1´110. |
| 002•••••••••••••• | | |
| 2,040• | | 2´040. |
| •••••••••••••••• | ✱ | |

## (例 3) アドモード計算

- アドモード計算はドル計算をするときなどに便利です。
- ラウンドセレクターを ADD2 に設定すると加減算を行うときに ⊡ を押さなくても、置数の下 2 桁目に自動的に小数点が現れます。
- 数値入力中に ⊡ キーを押した場合は、キーを押したときに入力される小数点が優先されます。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：ADD2

```
    123.45
–)    8.52
    41.00
   155.93
155.93 × 10 =
  1559.30
```

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 12345 ± | 123•45 + | 123.45 |
| 852 − | 8•52 − | 114.93 |
| 41 ⊡ ± | 41•00 + | 155.93 |
| ⊠ | 155•93 × | 155.93 |
| 10 ± | 10• = | |
| | 1,559•30 + | 1´559.30 |

### (例 4) リピート加減算

同じ数値を続けて加算または減算したいときは、必要な回数だけ [±] または [−] を押してください。
以下は、数量と金額を同時に計算している例です。

PRT：ON、機能セレクター：ITEM、ラウンドセレクター：F

**伝票番号1**

| 数量 | 単価 | 金額 |
|---|---|---|
| 2 | 300 円 | 600 円 |
| 1 | 480 | 480 |

**伝票番号2**

| 数量 | 単価 | 金額 |
|---|---|---|
| 1 | 250 円 | 250 円 |
| 3 | 400 | 1,200 |

数量合計：7　　金額合計：2,530 円

| | | |
|---|---|---|
| [CA] | ••0•• | 0. |
| 3 [00] [±] | 300• + | 300. |
| [±] | 300• + | 600. |
| 480 [±] | 480• + | 1′080. |
| 250 [±] | 250• + | 1′330. |
| 4 [00] [±] | 400• + | 1′730. |
| [±] | 400• + | 2′130. |
| [±] | 400• + | 2′530. |
| [✱] | 007•••••••••••• | |
| | 2,530• ✱ | 2′530. |

## ■ IT 機能

[AVG IT] キーを使って、加減算の回数（アイテム数）や平均値の印刷を行うことができます。
加減算の回数（アイテム数）はアイテムカウンターで数えられています。

### (例 1) アイテム数の印刷

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

```
  100
 −120
  100
   80 (合計) ―アイテム数3

  250
 −150
  180 (合計) ―アイテム数5
```

| | | |
|---|---|---|
| [CA] | ••0•• | 0. |
| 1 [00] [±] | 100• + | 100. |
| 120 [−] | **120**• − | −20. |
| 1 [00] [±] | 100• + | 80. |
| [AVG IT] | 003•••••••••••• | 003 |
| 250 [±] | 250• + | 330. |
| 150 [−] | **150**• − | 180. |
| [AVG IT] | 005•••••••••••• | 005 |

アイテム数は画面の左側に表示されます。

- [✱] を押した後、次の加算／減算を行うとアイテムカウンターは 001 に戻ります。

### (例 2) 平均値の印刷

項目数が印刷されているときに AVG/IT を押すと、平均値を印刷できます。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 150 | CA | ••0•• | | 0. |
| 220 | | | | |
| −100 | | | | |
| 270 (合計) ― アイテム数3 | 150 ± | 150• | + | 150. |
| 平均値90 | 220 ± | 220• | + | 370. |
| | 1 00 − | 100• | − | 270. |
| | AVG/IT | 003••••••••••••• | 003 | |
| | AVG/IT | 90• | | 90. |

- AVG/IT を押すたびに、アイテム数→平均値→アイテム数→平均値→ ... と印刷を繰り返すことができます。

PRT：ON、機能セレクター：ITEM、ラウンドセレクター：F

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | CA | ••0•• | | 0. |
| | 150 ± | 150• | + | 150. |
| | 220 ± | 220• | + | 370. |
| | 1 00 − | 100• | − | 270. |
| | * | 003••••••••••••• | | |
| | | 270• | * | 270. |
| | AVG/IT | 90• | | 90. |

- 機能セレクターが「ITEM」の位置にあるときは、* を押すと合計（トータル）とともにアイテム数が印刷されます。
- * を押した後に AVG/IT を押すと平均値を印刷できます。

**(例 3) アイテム数の設定**

数値を入力して AVG/NT を押すと、入力した数値の下 3 桁を現在のアイテム数に加算します。
このように数値を加算することでアイテム数をお好みの数にすることができます。

- アイテム数が 999 を超えると次は 000 になります。
- 入力した数値が小数の場合は整数の値に切り捨てされてアイテム数に加算されます。
  例) 1234 AVG/NT → 234 がアイテム数に加算
  1.23 AVG/NT → 1 がアイテム数に加算
- 設定したアイテム数は左側に印刷されます。

---

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

| | | | |
|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | 0. |
| 1234 AVG/NT | 234••••••••••••• | + | 234. |
| 1.23 AVG/NT | 001••••••••••••• | + | 1. |
| AVG/NT | 235••••••••••••• | | 235 |

## ■ 乗除算

数値入力 × (÷)数値入力 ± ..... 積(商)を算出

- ×／÷キーはいつでも入力を切り替えられます。最後に押した×／÷のみが有効となります。
- ± の代わりに − を押すと、計算結果はマイナスとなります。

---

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 2

12.3 × 36 × 2.54
= 1124.712

| | | | |
|---|---|---|---|
| 12 • 3 × | 12•3 | × | 12.3 |
| 36 × | 36• | × | 442.8 |
| 2 • 54 ± | 2•54 | = | |
| | 1,124•71 | + | 1´124.71 |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 2

789456 ÷ (–1200)
= –657.88

| | | | |
|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | 0. |
| 789456 ÷ | 789,456• | ÷ | 789´456. |
| 12 00 − | −1,200• | = | –657.88 |
| | −657•88 | + | |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

(123 + 456) × 82
= 47478

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 123 ± | 123• + | 123. |
| 456 ± | 456• + | 579. |
| × | 579• × | 579. |
| 82 ± | 82• = | |
| | 47,478• + | 47´478. |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 3

$\frac{123 \times 456}{236}$

= 237.66101694915.....

| | | |
|---|---|---|
| 123 × | 123• × | 123. |
| 456 ÷ | 456• ÷ | 56´088. |
| 236 ± | 236• = | |
| | 237•661 + | 237.661 |

- ラウンドセレクターが「ADD2」のとき乗除算をすると、計算結果は小数点第 2 位で四捨五入されます。

---

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : ADD2

(12.45 + 25.36 + 45.78) ÷ 4.5
= 18.575555555555.....

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 1245 ± | 12•45 + | 12.45 |
| 2536 ± | 25•36 + | 37.81 |
| 4578 ± | 45•78 + | 83.59 |
| ÷ | 83•59 ÷ | 83.59 |
| 4 · 5 ± | 4•5 = | |
| | 18•58 + | 18.58 |

## ■ 乗除算結果の合計と総合計

CA 数値入力 ⊠(÷)数値入力 ±(−) ..... 積(商)を算出
数値入力 ⊠(÷)数値入力 ±(−) ..... 積(商)を算出
⋮ ⋮
✱ ..... 合計を算出
GT ..... 総合計を算出

- ✱ を押すと答え（合計）をプリントし、答えを総合計メモリーに加えます。同時に答えを自動クリアーするので、次の計算をする前に CA を押す必要はありません。
- GT を押すと総合計が求められます。同時に総合計メモリーは自動クリアーされます。

---

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

| | | | |
|---|---|---|---|
| | CA | ••0•• | 0. |
| 12 × 45 = 540 | 12 ⊠ | 12• × | 12. |
| 23 × 56 = 1288 | 45 ± | 45• = | |
| 1828 （合計） | | 540• + | 540. |
| 45 × 78 = 3510 | 23 ⊠ | 23• × | 23. |
| −)14 × 23 = 322 | 56 ± | 56• = | |
| (3188) （中間計） | | 1,288• + | 1′288. |
| 56 × 89 = 4984 | ✱ | 1,828• ＊ | 1′828. |
| 8172 （合計） | 45 ⊠ | 45• × | 45. |
| | 78 ± | 78• = | |
| 10000 （総合計） | | 3,510• + | 3′510. |
| | 14 ⊠ | 14• × | 14. |
| | 23 − | −23• = | |
| | | −322• + | −322. |
| | %# | 3,188• ◊ | 3′188. |
| | 56 ⊠ | 56• × | 56. |
| | 89 ± | 89• = | |
| | | 4,984• + | 4′984. |
| | ✱ | 8,172• ＊ | 8′172. |
| | GT | 10,000• | 10′000. |
| | | •••••••••••••••• ＊ | |

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

(100 × 5) + 200 = 700
+) 300
1000

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 1 00 × | 100• × | 100. |
| 5 ± = | 5• = | |
| | 500• + | 500. |
| 2 00 ± | 200• + | 700. |
| 3 00 ± | 300• + | 1′000. |
| ✱ | 1,000• ✱ | 1′000. |

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

伝票番号1

| 商品 | 金額 |
|---|---|
| A | 480円 |
| B | 520 |
| 合計 | 1,000円 |

伝票番号2

| 商品 | 金額 |
|---|---|
| C | 374円 |
| D | 652 |
| 合計 | 1,026円 |

伝票番号3

| 数量 | 単価 | 金額 |
|---|---|---|
| 24 | 32円 | 768円 |
| 21 | 45 | 945 |
| | 合計 | 1,713円 |

金額合計：3,739円

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 480 ± | 480• + | 480. |
| 520 ± | 520• + | 1′000. |
| ✱ | 1,000• ✱ | 1′000. |
| 374 ± | 374• + | 374. |
| 652 ± | 652• + | 1′026. |
| ✱ | 1,026• ✱ | 1′026. |
| 24 × | 24• × | 24. |
| 32 ± | 32• = | |
| | 768• + | 768. |
| 21 × | 21• × | 21. |
| 45 ± | 45• = | |
| | 945• + | 945. |
| ✱ | 1,713• ✱ | 1′713. |
| GT | 3,739• | 3′739. |
| | •••••••••••••••• ✱ | |

## ■ 定数計算

- ⊠ または ÷ キーを続けて 2 回押すと、表示窓の最上桁に "K" が点灯し、表示の数値が定数としてセットされます。
- 一度定数をセットすると、あとは、≪数値 ± (−、M+、M−、%)≫で答えが求められます。
- 定数の変更や解除は、新たな操作をするか、CA キーを押してください。

---

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

(K)
36 × 28.35 = 1020.6
25.4 × 28.35 = 720.09
65 × 28.35 = 1842.75

| | | | |
|---|---|---|---|
| 28 • 35 ⊠ | 28•35 × | | 28.35 |
| ⊠ | 28•35 ×× | K | 28.35 |
| 36 ± | 36• = | | |
| | 1,020•6 + | K | 1´020.6 |
| 25 • 4 ± | 25•4 = | | |
| | 720•09 + | K | 720.09 |
| 65 ± | 65• = | | |
| | 1,842•75 + | K | 1´842.75 |

---

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 2

(K)
365200 ÷ 275 = 1328
78542 ÷ 275 = 285.607272...
965874 ÷ 275 = 3512.26909...

| | | | |
|---|---|---|---|
| 275 ÷ | 275• ÷ | | 275. |
| ÷ | 275• ÷÷ | K | 275. |
| 3652 00 ± | 365,200• = | | |
| | 1,328•00 + | K | 1´328.00 |
| 78542 ± | 78,542• = | | |
| | 285•61 + | K | 285.61 |
| 965874 ± | 965,874• = | | |
| | 3,512•27 + | K | 3´512.27 |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| $1.23^2 = 1.5129$<br>$1.23^3 = 1.860867$<br>$1.23^4 = 2.28886641$ | 1 ⊡ 23 ⊠ | 1•23 × | | 1.23 |
| | ⊠ | 1•23 ×× | K | 1.23 |
| | ± | 1•23 = | | |
| | | 1•5129 + | K | 1.5129 |
| | ± | 1•5129 = | | |
| | | 1•860867 + | K | 1.860867 |
| | ± | 1•860867 = | | |
| | | 2•28886641 + | K | 2.28886641 |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| $\frac{1}{4} = 0.25$ | 4 ÷ | 4• ÷ | | 4. |
| | ÷ | 4• ÷÷ | K | 4. |
| | 1 ± | 1• = | | |
| | | 0•25 + | K | 0.25 |
| $\frac{1}{4^2} = 0.0625$ | ± | 0•25 = | | |
| | | 0•0625 + | K | 0.0625 |
| $\frac{1}{4^3} = 0.015625$ | ± | 0•0625 = | | |
| | | 0•015625 + | K | 0.015625 |

## ■ 独立メモリー計算

- 独立メモリーは合計メモリーとは異なったエリアを使うメモリーです。[CA] を押しても、独立メモリーの内容はクリアーされません。
- 独立メモリー内に数値が記憶されているときは、表示窓に “M” が点灯します。
  なお、桁オーバーになっても直前に記憶した独立メモリーの内容は保護されています。
- 独立メモリー計算は [M✱] を押して、独立メモリーの内容をクリアーしてから始めてください。

[M✱] 数値入力 [×]([÷])数値入力 [M+]([M−]) .....積（商）を算出し、算出値を自動的にメモリーに加算（減算）します。
数値入力 [×]([÷])数値入力 [M+]([M−]) .....積（商）を算出し、算出値を自動的にメモリーに加算（減算）します。
[M◊].....メモリーに累計された合計値をクリアーせずに呼び出します。
►メモリーに累計された合計値を呼び出すと同時に、メモリーをクリアーします。

### (例 1) 合計計算

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

20 × 30 = 600
50 × 60 = 3,000
–) 40 × 50 = 2,000
1,600 (合計)

| | | | |
|---|---|---|---|
| [M✱] | 0• M✱ | | 0. |
| [CA] | ••0•• | | 0. |
| 20 [×] 30 [M+] | 20• × | | |
| | 30• = | | |
| | 600• M+ | M | 600. |
| 50 [×] 60 [M+] | 50• × | | |
| | 60• = | | |
| | 3,000• M+ | M | 3′000. |
| 40 [×] 50 [M−] | 40• × | | |
| | 50• = | | |
| | **2,000**• M− | M | 2′000. |
| [M◊] | 1,600• M◊ | M | 1′600. |

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター ： 3

96.3 ÷ 13 = 7.408·····
14.7 ÷ 26 = 0.565·····
85.2 ÷ 47 = 1.813·····
9.786 (合計)

| | | | |
|---|---|---|---|
| [M✱] | 0• M✱ | | 0. |
| [CA] | ••0•• | | 0. |
| 96 [•] 3 [÷] 13 [M+] | 96•3 ÷ | | |
| | 13• = | | |
| | 7•408 M+ | M | 7.408 |
| 14 [•] 7 [÷] 26 [M+] | 14•7 ÷ | | |
| | 26• = | | |
| | 0•565 M+ | M | 0.565 |
| 85 [•] 2 [÷] 47 [M+] | 85•2 ÷ | | |
| | 47• = | | |
| | 1•813 M+ | M | 1.813 |
| [M◊] | 9•786 M◊ | M | 9.786 |

## (例 2) 定数計算

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

4 × 12 = 48
−) 5 × 12 = 60
6 × 12 = 72
60 (合計)

| | | | |
|---|---|---|---|
| [M✱] | 0• M✱ | | 0. |
| [CA] | ••0•• | | 0. |
| 12 [×] | 12• × | | 12. |
| [×] | 12• ×× | K | 12. |
| 4 [M+] | 4• = | | |
| | 48• M+ | KM | 48. |
| 5 [M−] | 5• = | | |
| | **60**• M− | KM | 60. |
| 6 [M+] | 6• = | | |
| | 72• M+ | KM | 72. |
| [M◊] | 60• M◊ | KM | 60. |

## ■ パーセント計算

- a ⊠ b % で割合が、それに続いて ± または ⊖ を押せば割増しあるいは割引きが求められます。
- a ÷ b % で比率が、それに続いて ± または ⊖ を押せば増加後の比率あるいは変化率が求められます。
- a Δ% b ± で a → b の変化率が、それに続いて c ± で、a → c の変化率が求められます。
- % キーで求められた数値は ⊛（合計）に加算され、累計を求めることができます。また、パーセントの定数計算をすることができます。
- a ⊠ b MU MD で売価設定が、a ÷ b MU MD で原価設定が求められます。

### （例 1） 割合、割増し／割引き計算

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

1,500円の26%は？

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 15 00 ⊠ | 1,500• × | 1′500. |
| 26 % | 26• % | |
| | 390• + | 390. |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

3,620円の15%増しは？

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 3620 ⊠ | 3,620• × | 3′620. |
| 15 % | 15• % | |
| | 543• + | 543. |
| ± | 4,163• +% | 4′163. |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

4,750円の4%引きは？

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 4750 ⊠ | 4,750• × | 4′750. |
| 4 % | 4• % | |
| | 190• + | 190. |
| ⊖ | 4,560• −% | 4′560. |

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

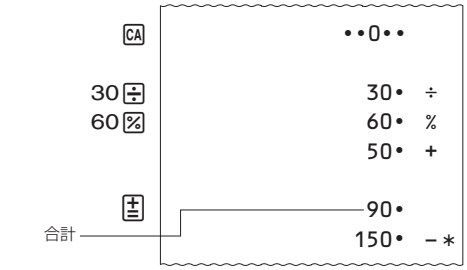
456個は1,230個の何%か？

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 456 ÷ | 456• ÷ | 456. |
| 1230 % | 1,230• % | |
| | 37•0731707317 + | 37.0731707317 |

## (例 2) 増減比率の計算

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

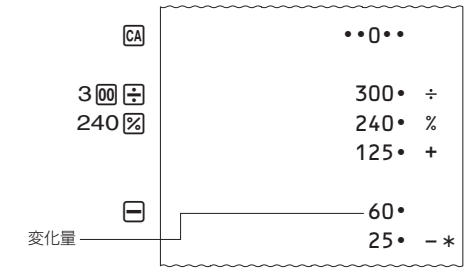
30個と60個の合計は?
それは60個の何%か？




0.
30.
50.
150.

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

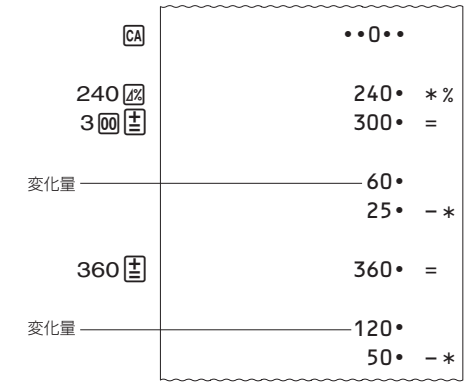
300円は240円の
何%増しか?




0.
300.
125.
25.

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : F

300円は240円の何%増しか？
360円は240円の何%増しか？




0.
240.
25.
50.

以下は、定数を使った計算例です。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：2

1590の6%は?
3698の6%は?
2541の6%は?

| | | | |
|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | 0. |
| 6 × | 6• × | | 6. |
| × | 6• ×× | K | 6. |
| 1590 % | 1,590• % | | |
| | 95•40 + | K | 95.40 |
| 3698 % | 3,698• % | | |
| | 221•88 + | K | 221.88 |
| 2541 % | 2,541• % | | |
| | 152•46 + | K | 152.46 |

## (例 3) 売価設定(マークアップ)および原価設定(マークダウン)の計算

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

売価設定 (マークアップ)
仕入れ価格480円の
商品に40%の利益率を
設定する場合の売価と
利益は?

| | | | |
|---|---|---|---|
| 480 × | 480• × | | 480. |
| 40 MU MD | 40• %M | | |
| | 320• −% | | |
| | 800• | (売価) | 800. |
| − | 320• −% | (利益) | 320. |

(続けて押す)

原価設定(マークダウン)
売価130円で、利益を
原価の4%とすると、
原価と利益は?

| | | | |
|---|---|---|---|
| 130 ÷ | 130• ÷ | | 130. |
| 4 MU MD | 4• %M | | |
| | 5• −% | | |
| | 125• | (原価) | 125. |
| − | 5• −% | (利益) | 5. |

(続けて押す)

## ■ 実務計算

### (例 1) 百分比計算

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 3

| 部門 | 売上金額 | 構成比 |
|---|---|---|
| A | 47,500円 | 23.812% |
| B | 129,680 | 65.009 |
| C | 16,400 | 8.221 |
| D | 5,900 | 2.958 |
| 合計 | 199,480円 | 100.000% |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | | 0. |
| 475 00 ± | 47,500•000 | + | | 47´500.000 |
| 129680 00 ± | 129,680•000 | + | | 177´180.000 |
| 164 00 ± | 16,400•000 | + | | 193´580.000 |
| 59 00 ± | 5,900•000 | + | | 199´480.000 |
| ✱ | 199,480•000 | ✱ | | 199´480.000 |
| ÷ ÷ | 199,480• | ÷ | | |
| | 199,480• | ÷÷ | K | 199´480. |
| 475 00 % | 47,500• | % | | |
| | 23•812 | + | K | 23.812 |
| 129680 % | 129,680• | % | | |
| | 65•009 | + | K | 65.009 |
| 164 00 % | 16,400• | % | | |
| | 8•221 | + | K | 8.221 |
| 59 00 % | 5,900• | % | | |
| | 2•958 | + | K | 2.958 |
| ✱ | 100•000 | ✱ | | 100.000 |

## (例2) 伝票計算

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：0

| 部門 | 人数 | 箱数 | 単価 | 金　額 |
|---|---|---|---|---|
| A | 12 | 7 | 450 | 37,800 |
| B | 50 | 6 | 75 | 22,500 |
| C | — | 20 | 630 | 12,600 |
| | | 合　計 | | 72,900 |
| | | 手数料3% | | 2,187 |
| | | 運　賃 | | 1,800 |
| | | 合計請求額 | | 76,887 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | 0. |
| 12 × | 12• | × | 12. |
| 7 × | 7• | × | 84. |
| 450 = | 450• | = | |
| | 37,800• | + | 37′800. |
| 50 × | 50• | × | 50. |
| 6 × | 6• | × | 300. |
| 75 = | 75• | = | |
| | 22,500• | + | 22′500. |
| 20 × | 20• | × | 20. |
| 630 = | 630• | = | |
| | 12,600• | + | 12′600. |
| %# | 72,900• | ◊ | 72′900. |
| × 3 % | 72,900• | × | |
| | 3• | % | |
| | 2,187• | + | 2′187. |
| 18 00 = | 1,800• | + | 76′887. |
| * | 76,887• | * | 76′887. |

## (例3) 集計計算

PRT : ON、機能セレクター : ITEM、ラウンドセレクター : F

| 支社 | 地区 | 金額(万円) |
|---|---|---|
| 東日本支社 | A | 3,698 |
| | B | 3,456 |
| | C | 3,574 |
| | 地区合計 | 10,728 |
| | D | 2,478 |
| | E | 1,596 |
| | 地区合計 | 4,074 |
| 支社合計 | | 14,802 |

| 支社 | 地区 | 金額(万円) |
|---|---|---|
| 西日本支社 | F | 2,345 |
| | G | 2,589 |
| | H | 2,014 |
| | 地区合計 | 6,948 |
| | I | 2,468 |
| | J | 1,789 |
| | K | 2,101 |
| | 地区合計 | 6,358 |
| 支社合計 | | 13,306 |

| 全国合計 | 28,108 |
|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | [M*] | 0• | M* | 0. |
| | [CA] | ••0•• | | 0. |
| 3698 | [±] | 3,698• | + | 3´698. |
| 3456 | [±] | 3,456• | + | 7´154. |
| 3574 | [±] | 3,574• | + | 10´728. |
| | [*] | 003•••••••••••• | | |
| | | 10,728• | * | 10´728. |
| 2478 | [±] | 2,478• | + | 2´478. |
| 1596 | [±] | 1,596• | + | 4´074. |
| | [*] | 002•••••••••••• | | |
| | | 4,074• | * | 4´074. |
| | [G*] | 002•••••••••••• | | |
| | | 14,802• | | 14´802. |
| | | ••••••••••••••• | * | |
| | [M+] | 14,802• | M+ | 14´802. |
| 2345 | [±] | 2,345• | + | 2´345. |
| 2589 | [±] | 2,589• | + | 4´934. |
| 2014 | [±] | 2,014• | + | 6´948. |
| | [*] | 003•••••••••••• | | |
| | | 6,948• | * | 6´948. |
| 2468 | [±] | 2,468• | + | 2´468. |
| 1789 | [±] | 1,789• | + | 4´257. |
| 2101 | [±] | 2,101• | + | 6´358. |
| | [*] | 003•••••••••••• | | |
| | | 6,358• | * | 6´358. |
| | [G*] | 002•••••••••••• | | |
| | | 13,306• | | 13´306. |
| | | ••••••••••••••• | * | |
| | [M+] | 13,306• | M+ | 13´306. |
| | [M◊] | 28,108• | M◊ | 28´108. |

# 検算機能

本機は検算メモリーを備えています。

- 計算した後、計算手順を確認できます。
- 計算手順を確認しているときに、数値や数式を変更して、再計算することができます。

---

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

200 − 100 + 50 + 200 − 50 = 300
(2 00 ± 1 00 − 50 ± 2 00 ± 50 − ✱)

| | | | |
|---|---|---|---|
| CA | ••0•• | | 0. |
| 2 00 ± | 200• | + | 200. |
| 1 00 − | 100• | − | 100. |
| 50 ± | 50• | + | 150. |
| 2 00 ± | 200• | + | 350. |
| 50 − | 50• | − | 300. |
| ✱ | 300• | ＊ | 300. |

- 計算の前に CA を押してください。
- 検算メモリーには 150 ステップまで記憶することができます。表示窓左上に、何ステップ目かを示すステップ番号が表示されます。
- 計算中にエラーが起こると、検算機能が無効になります。
- CA を押すと全ステップが消去され、次の操作はステップ 1 から始まります。

## ■ 計算手順を確認するには

△ ▽ を使って確認します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ▽ ※1 | 01 | REV | 200. ※2 |
| ▽ | 02 | REV | 100. |
| ▽ | 03 | REV | 50. |
| ▽ | 04 | REV | 200. |
| ▽ | 05 | REV | 50. |
| ▽ | 06 ＊ | REV | 300. |

※ 1 ▽ を押すと計算手順は最初のステップから確認できます。△ を押すと計算手順は最後のステップから確認できます。その後は、△ もしくは ▽ を押すたびに 1 ステップずつ計算手順を前後させることができます。△ もしくは ▽ を押し続けると、指を離すまで、計算手順がスクロールして表示されます。

※ 2 表示窓に“***REV***”が点灯しているときは、計算手順を確認中であることを表しています。

- C を押すと検算機能を抜けて、最初に △ もしくは ▽ を押す前の状態に戻ります。

## ■ 計算手順を変更するには

現在の計算： 2 [00][±] 1 [00][−] 50 [±] 2 [00][±] 50 [−][✱] (300)

変更後の計算：2 [00][±] 20 [±] 50 [±] 1 [00][±] 50 [−][✱] (320)

| | | |
|---|---|---|
| [▽] | 01 | REV 200.+ |
| [▽] | 02 | REV 100.− |
| [CORRECT] ※1 | 02 | CRT 100.− ※2 |
| 20 [±] ※3 | 02 | CRT 20.+ |
| [▽] | 03 | CRT 50.+ |
| [▽] | 04 | CRT 200.+ |
| 1 [00] | 04 | CRT 100.+ |
| [CORRECT] ※4 | 04 | REV 100.+ |
| [▽] | 05 | REV 50.− |
| [▽] | 06 ✱ | REV 320. ※5 |

※ 1 計算手順を変更するステップのところで [CORRECT] を押します。

※ 2 表示窓に“***CRT***”が点灯しているときは、計算手順を変更中であることを示します。

※ 3 変更しようとする数値や命令キー ([±][−][×][÷]) を押します。ただし、乗算と除算間での変更（×↔÷）や、加算と減算間での変更（±↔−）はできますが、乗除算と加減算の間での変更はできません。

※ 4 変更したら [CORRECT] をもう 1 回押します。

※ 5 計算結果は変更した計算手順に従って計算されます。置数キーを押して計算結果を変更することはできません。

- 計算手順の変更は何度でもできます。[CORRECT] を押してから変更し、変更が終わったらもう一度 [CORRECT] を押します。変更後は忘れずに [CORRECT] を押してください。
- 小数の端数処理設定を変更したときは、計算結果に反映されます。
- 計算手順を入力しているときや計算手順を変更しているときにエラーが発生した場合は [CA] を押してエラーを解除してください。ただし、この操作をすると検算メモリーの内容はすべてクリアーされます。
- 記憶されているステップ数が多いと、計算終了までに時間がかかることがあります。

# 通貨換算

米ドルに対応するレート（1 ドル＝105 円など）を設定することができます。レートは C1、C2、C3 それぞれのキーに 1 つずつ設定することができます。通貨換算は設定したレートを使用して行われます。

## ■ レートを設定する

**（例） C1 にレートとして 105（1 ドル＝105 円）を設定する。**

PRT：ON、機能セレクター：CONVERSION、ラウンドセレクター：F

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| SET %（"SET"が点灯するまで押します） | #---------- | 0. |
| レートを入力した後、M⊕C1を押します。 105 M⊕C1 | #1--------105•000 | 105.000 |

### ● レートについて

1）1 以上の数値をレートとして設定するときは、最大 6 桁の数値をレートとして設定できます。

2）1 未満の数値をレートとして設定するときは、最大 8 桁の数値をレートとして設定できます。ただし、以下のように左から数えて最初の 0 以外の数字からは 6 桁までの数値の設定となります。

例：0.123456　0.0123456　0.0012345

- CA を押した後、M⊕C1、M−C2、M+C3 のいずれかのキーを押すと、それぞれのキーに設定されているレートを確認することができます。
- メモリー保護用電池によって電源が供給されている限り、メモリー計算機能と通貨換算機能を切り替えても、メモリーに記憶されている数値や通貨換算のレートは消去されることなく保持されています。

## ■ 通貨換算のしかた

C1 に円、C2 にユーロのレートを設定して、通貨換算してみます。

**（例 1） 1,000 円をドルに換算する**

- 1 ドル＝105 円とします。操作の前にレートとして 105 を C1 に設定してください。

PRT：ON、機能セレクター：CONVERSION、ラウンドセレクター：2

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 1000 M⊕C1 | 1,000• C÷ | 1´000. |
| M×$ | #1--------105•000 = | |
| | 9•52 $ | 9.52 |

- もう一回 M⊕C1 を押すとドル表示されている金額が円に換算されます。

**(例 2) 100 ドルをユーロに換算する。**

- 1 ドル = 0.91 ユーロとします。操作の前にレートとして 0.91 を C2 に設定してください。

PRT : ON、機能セレクター : CONVERSION、ラウンドセレクター : 2

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 1 00 M×$ | 100• $× | 100. |
| M− C2 | #2-------0•910000 = | |
| | 91•00 C | 91.00 |

**(例 3) 10 ユーロを円に換算する。**

PRT : ON、機能セレクター : CONVERSION、ラウンドセレクター : 0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 10 M− C2 | 10• C÷ | 10. |
| M⊕ C1 | #2-------0•910000 = | |
| | 10•989010989 $× | |
| | #1--------105•000 = | |
| | 1,154• C | 1´154. |

- C1( 円 ) と C2( ユーロ ) など、通貨換算キーに設定した通貨間で換算するときは、いったん共通通貨 ( ドル ) に換算した後、それぞれの通貨に換算します。換算の媒介をする共通通貨 ( ドル ) の小数点以下の桁数を以下のようにして指定できます。

**(例 4) 共通通貨 ( ドル ) の小数点以下の桁数を 5 桁に指定する。**

PRT : ON、機能セレクター : CONVERSION、ラウンドセレクター : F

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| SET % ("SET"が点灯するまで押します) | #---------- | 0. |
| 5 M×$ | #0----------5• | 5. |

桁数は 3 ～ 9 および F を指定できます。
F を指定するときは上の例で 5 の代わりに 0 を入力します。
本機製造時は F が指定されています。
桁数として 3 ～ 9 あるいは 0 以外の数値を入力するとエラーが発生します。エラーが発生したときは C を押した後、正しい数値を入力し直してください。

- CA を押した後、M×$ を押すと、共通通貨 ( ドル ) に指定されている小数点以下の桁数を確認することができます。

# 税金計算

## ■ 税率を設定する

(例) 税率を 8%に設定する。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：F

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| SET %（"SET"が点灯するまで押します） | #---------- | 0. |
| 8 TAX+ | #----------8• %T | 8. |

- CA を押した後に TAX+ を押すと、現在設定されている税率を確認することができます。

## ■ 税計算の例

① 税込み計算

(例) 税抜き価格が 1,500 円の商品の税込み価格と税額を計算する。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 15 00 TAX+ | 1,500• −T | |
| | 8• %T | |
| 税額 | 120• T | |
| 税込み価格 | 1,620• +T | 1´620. |
| TAX+ | | （税額）120. |

② 税抜き計算

(例) 税込み価格が 1,080 円の商品の税抜き価格と税額を計算する。

PRT：ON、機能セレクター：ON、ラウンドセレクター：0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 1080 TAX− | 1,080• +T | |
| | 8• %T | |
| 税額 | 80• T | |
| 税抜き価格 | 1,000• −T | 1´000. |
| TAX− | | （税額）80. |

# 原価・売価・利益計算

原価、売価、利益率が簡単に計算できます。

**(例 1) 原価 800 円で売価 2,000 円の商品の利益率を計算する。**

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 8 00 COST | 800• ◊◊ | 800. |
| 2 00 0 SELL | 2,000• ** | |
| | 60• M% | (利益率%) 60. |
| MAR | 1,200• MT | (利益金額) 1'200. |

**(例 2) 原価 120 円で利益率 40%の場合の利益金額と売価を計算する。**

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 120 COST | 120• ◊◊ | 120. |
| 40 MAR | 40• M% | |
| | 200• ** | (売価) 200. |
| MAR | 40• M% | |
| | 80• MT | (利益金額) 80. |
| SELL | | (売価) 200. |

**(例 3) 売価 12,000 円で利益率 30%の場合の利益金額と原価を計算する。**

PRT : ON、機能セレクター : ON、ラウンドセレクター : 0

| | | |
|---|---|---|
| CA | ••0•• | 0. |
| 12 00 0 SELL | 12,000• ** | 12'000. |
| 30 MAR | 30• M% | |
| | 8,400• ◊◊ | (原価) 8'400. |
| MAR | 30• M% | |
| | 3,600• MT | (利益金額) 3'600. |
| COST | | (原価) 8'400. |

# 仕様

**計算機能：**加減乗除計算、定数乗除計算、割合・割増し・割引き・比率・変化率計算、売価設定・原価設定計算、通貨換算、税金計算、原価･売価･利益計算、リピート加減算、個々の積･商とその合計・総合計計算、加減算の中間計・合計・総合計計算、平均値計算およびアイテムカウント、四捨五入、アドモード計算、その他混合計算

**計算桁数：**置数 12 桁、和差積商合計およびメモリーとも 12 桁、アイテムカウント 3 桁（−999 ～ 999）

**メモリー（記憶）：**加減乗除の合計メモリー 1 組、総合計メモリー 1 組、独立メモリー 1 組、検算メモリー 1 組（150 ステップ）

**小数点方式：**上位桁優先の浮動（F）、四捨五入（小数点以下 0、2、3 位に指定）、またはアドモード計算方式

**印字桁数：**数値、小数点、3 桁区切りシンボル合わせて 17 桁、計算記号 2 桁、最大印字数 19 桁

**その他独自機能：**ノンアド印字、バッファレジスター（16 キー分）、答え印字後スペース送り、プリント OFF 機能、検算メモリー印字

**ロールペーパー：**幅 57 ～ 58mm、外径 80mm 以内の普通紙

**インクリボン：**印字色 赤・黒

**時計精度(常温下)：**日差± 3 秒以内

**使用温度：**0℃～ 40℃

**電源：**DC…単 3 形乾電池 4 本(二次電池は使用しないでください。)
AC…専用アダプター（AD-A60024)使用、100V ± 10V

**電池寿命：**UM-3 で、555555 を表示したとき約 390 時間、555555M+ を印字したとき約 3,000 行
R6P(SUM-3) で、555555 を表示したとき約 540 時間、555555M+ を印字したとき約 7,000 行
本機をご使用にならない場合も、1 年に 1 度は必ず電池を交換してください。

**消費電力：**2.5W

**メモリー保護用電池：**CR2032

**メモリー保護用電池寿命：**約 22ヶ月(AC 電源を使用しないとき)

**プリンター印刷寿命：**約 200,000 行

**寸法・質量：**幅 165 × 奥行き 295 × 高さ 64.6mm（ロールアーム含む）
570g（電池、ロールアーム含む）

**付属品：**単 3 形乾電池 4 本、インクローラー (MS37901)1 個、ロールペーパー 1 巻

**別売品：**専用 AC アダプター< AD-A60024 >
インクローラー< IR-40T >
ロールペーパー
●< RP-5860-TW > ( 紙幅 57 ～ 58、外径 60mm)
・別売品は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。